

2024年4月

5月26日まで

で返送厳守

返送先 JGFA 事務局

FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ(A.共通問題)

氏名 _____ 会員No _____ 所属 _____

住所 〒 _____

TEL. _____

私はこの共通問題のほか、次のジャンルの問題に回答し、審査員資格の更新、あるいは新規取得を申請します。

B.ビッグゲームトロリング C.ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り D.フライ

(上記のいずれかひとつに必ず○をお付けください)

A 共通問題

回答欄 (○×式)

1. 「リーダーの長さ」とは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さである。

2. 生き餌、または死んだ餌で釣るときは、シングルフック(1本/バリ)を2本まで使用することができる。

3. ギャングフックは専用に設計されたプラグまたはルアーに取り付けるときだけに使用が許され、4本以上使用することができる。

4. トロリングまたはキャスティング用のルアーに使われるヘアーまたはポークリンドの他に、ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分もチャム(寄せ餌)またはベイトとして使用できる。

5. ダブルライン全体が全くロッドティップから出ない方法で魚を釣ってはならない。

問題は、別に6.~ 10.の5問あります。

それぞれの釣りジャンルから、1ジャンルだけ選び、回答し、共通問題とあ

わせてご提出ください。

5月26日まで

で返送厳守

返送先 JGFA事務局 FAX: 03-6280-3952

MAIL: japan@jgfa.or.jp

JGFA 審査員養成/更新
IGFA ルールクイズ(B.ビッグゲームトローリング)

氏名 _____

問 題 _____

回答欄 (○×式)

6. ロッドティップ長180cmのスピニングロッドでトローリングをして、魚が食いついた衝撃でロッドのトップ部分(20cm)が折れてしまった。幸いトップ下のリングガイドがトップガイドの代替となって普通にファイトした。無事キャッチできて、計量したら日本記録を超えていたので申請した。

7. 安全のためハーネスをファイティングチェアに括り付けてファイトしたが、セーフティラインが短くて常に張った状況だったので、楽にファイトできた。

8. リーダー長9m(ルアー、フックを含む)に64kgラインのダブルライン長3mの(ストライキングドラグ値20kg) 用具で10m出してトローリングを開始した。キャプテンのリバース操作が上手だったため、5m程ラインを引き出されただけでロッドを抜きファイトができ、T&Rに成功した。

9. 2本のフックアイは、互いにフックの長さ以上離れている下図の仕掛けはルールに即しているので、Aのフックをサバの鼻先に差し込んでデッドベイトトローリングを行っても問題ない。



10. 2本のロッドへ同時にカジキがヒットした(ダブルストライク)。アングラーは自分に近い方のロッドをポストから抜いて、ファイティングチェアに座り、リーリングを開始した。

もう1本のロッドの跳ねているカジキを見たら、現在ファイト中の魚より遥かに大きく、日本記録更新の期待が持てそうである。アングラーは保持していたロッドをポストに戻し、新たにもう一方のロッドを抜いてファイトし、無事ランディングに成功した。帰港して計量したところ記録更新していたので、タックルチェックを行い、精度確認できている秤だったので申請書を作成することにした。

別に共通問題の1.~5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせて

ご提出ください。

5月26日まで

返送厳守

返送先 JGFA 事務局

JGFA 審査員養成/更新

2024年4月

FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

IGFA ルールクイズ(C. ルアー、淡水、岸(磯)釣り、沖釣り)

氏名 _____

問 題

回答欄 (○×式)

6. 魚がヒットしてからファイト中、釣り人でない人がロッド、リール、およびライン(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触れることはできない。

7. 北海道の太平洋沖で従来の記録を上回るシロザケを釣った。リーダーの長さは2.0m。海水面での釣りだったので、シロザケの記録として申請した。

8. 船から記録申請に値するヒラメを釣り上げ申請したが、取り込み時に使用したネットが全長2.5mだった。

9. 複数のフック付きジグヘッドが装着されたアラバマリグ(アンブレラリグ)を使用して、記録申請に値するスズキを釣り上げたので、記録申請をした

10. リールは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。

別に共通問題の1.~5.があります。そちらにも回答し、この回答とあわせてご提出ください。

2024年4月

5月26日まで

で返送厳守

返送先 JGFA事務局 FAX : 03-6280-3952

MAIL : japan@jgfa.or.jp

JGFA 審査員養成/更新

IGFA ルールクイズ(D. フライフィッシング)

氏名 _____

問 題

回答欄 (○×式)

6. フライフィッシングのリーダーには必ずバットおよびテーパー部分が必要なので、
たとえば **6kg** クラスのナイロンラインだけをフライラインに直接接続して使うことはできない。

7. 化学繊維を編んだロープを解いてフライのウイング材とすると、
カジキ類がそれを叩いたときに絡まってキャッチ率が飛躍的に高まるが、
このようなウイング材を使ったフライは使用できない。

8. スズキがシラスにライズしており、それにマッチさせる必要があったので、
何も巻いていないフックにちいさなワームを刺し、フライタックルで投げた。
このようにして釣った魚はフライフィッシング・カテゴリー記録認定の対象である。

9. 掛かった魚が大きかったので、2人でギャフを掛けて引き上げた。
これは **IGFA** ルール上問題ない。

10. 魚が掛かってファイトしたらノットがきつく締まり、
制作時にはぎりぎり **30.48cm** 以内であったショックティペット部がすこし伸びて、
30.70cm になっていた。これは失格となる。

別に共通問題の 1. ~5. があります。そちらにも回答し、この回答とあわせ

てご提出ください。